ナーの代わりに、ご紹介したいと思います。以下、お母様のメッセージの抜粋です。

『映次が小６の時に生徒会に立候補して立会演説会で、自分の頭髪の事を逆手にとって立会演説して拍手喝采だったと、担任の先生（女性）が電話口で感動して報告をしてくれました。詳細については、本人からは（照れて）聞いていませんが。先生は、映次の円形脱毛症の事を心配してくれていて、それでもポジティブな映次のことをず～っと気に掛けてくれていました（選挙には負けたようですが･･･）。
高校生になると、円形脱毛症がさらに酷くなり、隠すよりはと、学校と相談しスキンヘッドにしても OK との許可を取り、それ以来ずーっとスキンヘッドです。「映次君はクラスのムードメーカーです、時には度が過ぎる事があるけれど…」と。それが映次の個性だと思っています。高校３年間は同じ担任の先生でした、”守る会”にも入会してくださりずっと支援してくれています。映次の円形脱毛症は元プロ野球選手の森本稀哲さんと同じですね。社会に戻って検査して治療すれば毛が生えてくるかもしれません。眉毛も以前抜けたことが何度かあって、眉墨で描いていたことがありますが、刑務所では眉毛を描けないから、周りに理解してもらうしかないと思います。栄養不足もストレスもあると思いますが･･･。 映次は一人っ子でおばあちゃん子だったので、自分の欲しいもの、したいことなど、よほどのことが無い限りかなえてやりました。だから、大学時ドイツへの交換留学にもシンドかったけど行かせました（苦笑）。甘やかされて育ったけれど、感情的にはならず、自分の子供にも一度も手をあげたことない、そんな息子です。』

　なるほど～そんなお子さんだったのですね。面会室での笑顔は私への気遣いなのかもしれないな、などと納得しましたが、やってもいない罪で既に 4000 日以上囚われの身となっている映次さん。そんな状況でもポジティブに生きようとする姿はアッパレです。（なつし聡）

小学校の修学旅行で。

ついにスキンヘッドに。

中学生の頃の１枚。

幼少の頃の映次さん。秋祭り。